

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

東京臨海高速鉄道（株）

2 実施日時

令和元年7月17日（水） 14時02分～14時15分

3 出席者

- ・団体側出席者：浅川社長、市川総務部長、
山下都市基盤部長（都市整備局）
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

先日も海の森水上競技場がオープンし、一番近いシャトルバスの駅が東京テレポートということで、エレベーターなどバリアフリー関係の観点からもしっかり対応をしてほしい。

会社の財務状況はどうか。

○浅川社長

財務的には、平成24年度から7年連続で黒字を達成しており、大体毎年度20億から30億の黒字となっている。ただ、累積欠損金が約三百数十億、長期借入金が約1,200億円も残っているので、これを毎年着実に減らしていきたい。

車両などの更新時期にも当たり、設備投資もしていかなければならないため、今後の資金状況を見ながらしっかりやっていきたい。

○小池知事

沿線地域は、これから人口は増える見立てか。

○浅川社長

マンション開発がまだ続くと思うので、もう少し居住人口が増えるの見込んでいる。

○小池知事

その分、快適性の確保などの工夫もしていただかなければならない。そのためには、投資が必要である。

○遠藤総務局長

東京 2020 大会の時には終電延長をすることとしているが、元々、臨海副都心は終電が早いため、スタッフ、アルバイトが集まらないという話を聞いたことがある。対策などはいかがか。

○浅川社長

東京 2020 大会の時は、スタッフ用の仮泊施設を臨時で建てたり、借り上げたりしながら対応する準備をしている。終電延長については、どの程度需要が見込めるのか、今後の実情を見て考えたい。

○小池知事

当面まずバリアフリー関係もしっかりやっていただき、また、バイエリアビジョンともうまく連携しながら取り組んでもらいたい。